

では、からむし織<sup>おり</sup>のできるまでを紹介<sup>しょうかい</sup>しましょう。

### ◇栽培<sup>さいばいほうほう</sup>方法

#### (1) 植え付け<sup>うつけ</sup>

1年目、栄養分<sup>えいようぶん</sup>のある畑<sup>はたけ</sup>を春早く耕<sup>たがや</sup>して、からむしの根<sup>ね</sup>を植え付け<sup>うつけ</sup>ます。2年目は焼き畑<sup>やばた</sup>をし、3年目から収穫<sup>しゅうかく</sup>ができてようになります。

#### (2) 焼き畑「からむし焼き」

からむしは寒<sup>さむ</sup>さに弱<sup>よわ</sup>いので、霜<sup>しも</sup>が降り<sup>お</sup>なくなる5月21日頃<sup>頃</sup>（暦<sup>こま</sup>で小満<sup>こまん</sup>の日）焼き畑<sup>やばた</sup>をして栄養分<sup>えいようぶん</sup>を与え、また、害虫<sup>がいちゅう</sup>の退<sup>たい</sup>治<sup>じ</sup>をします。



#### (3) 施肥<sup>せひ</sup>

焼き畑<sup>やばた</sup>の後、もっと栄養分<sup>えいようぶん</sup>のある畑<sup>はたけ</sup>にするために、下肥<sup>しもごえ</sup>、堆肥<sup>たいひ</sup>、わらなどをかけます。



#### (4) 風よけの垣<sup>かぜよけのかき</sup>

質<sup>しつ</sup>の良いからむしを作るために畑<sup>はたけ</sup>の周り<sup>まわり</sup>に垣<sup>かき</sup>を作り、風よけ<sup>かぜよけ</sup>をたてます。

